

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	道路課長 秋山 崇	
都整-18	橋りょう維持補修事業	☒ 自治事務	主管課	道路課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・劣化の著しい箇所の補修等を行い、安全な交通を確保した。 ・橋りょう72橋の点検業務を行った。 ・泉橋及び高野陸橋の修繕工事に必要となる設計業務を行った。 ・古川橋外4橋の修繕工事を行った。 ・令和4年度から繰越した音無橋及び極楽寺橋の修繕工事を完了した。	
--	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	橋りょう維持補修事業	工事請負費、各所修繕料、設計等業務委託費	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕完了数(基)	11 / 177173	5 / 109833	7 / 105,334	220.0%
		財源内訳	国県支出金	52,883 /	23,457	12,720	
			地方債	101,900 /	57,900	14,800	
			その他特定財源	/			
			一般財源	22,390 /	28,476		
		事業費の合計(千円)		177,173 /	109,833	27,520	
		人件費(千円)			25,643	26,045	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.0	2.5	3.3	3.3	3.3	
会計年度任用職員	0.0	0.2	0.4	0.4	0.2	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	橋りょう維持補修事業	第4期基本計画においては、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕完了するを指標としているため、整合を図り同じ指標とした。 なお、当該年度に工事が終わらなかったことなどにより目標未達となった。	橋りょうの長寿命化を図ること、橋りょうの安全性、信頼性の確保に寄与する。	早期に対策すべき橋りょうが多数あり、発注事務の負担が課題となっているが、設計業務を外注する等、事務の効率化等を図るとともに、複数の橋りょうをまとめて工事発注する工夫を図っている。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
市内の橋りょうの修繕等は、長寿命化修繕計画に基づき修繕を行っている。架設後相当年数が経過している橋りょうが多数あるが、令和元年度に策定した修繕計画における、早期に対策を講じるべき橋りょうについては、令和6年度に修繕が完了する予定である。					
道路課の事業のほか他課の事業(委任等)及び無電柱化にかかる事務により、職員5名分の人員が不足している。なお、令和6年度の道路課における職員の配置人数は、定数に対して2.5名分不足している状況である。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	橋りょう長寿命化修繕計画における修繕完了数						単位	基
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
第4期基本計画においては、舗装修繕計画に伴う修繕の累積進捗率を成果指標としていたため、整合を図り、年度ごとの修繕の延長を指標とした。	目標値	4	3	12	5	7	-	
	実績値	6	2	5	11			
	達成率	150.0%	66.7%	41.7%	220.0%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--